

令和7年度 第2回 名城大学研究倫理審査委員会 議事要旨

1. 日 時：令和7年5月16日（金）16：30～18：01
2. 場 所：本館4階 第1会議室
3. 出席者：永田美和子委員長、大城凌子人間健康学部長、嘉納英明国際学部長・国際文化研究科長(国際地域文化専攻博士後期課程)・国際学部会長、奥本正スポーツ健康科学研究科長（修士課程）、木村安貴看護学研究科長（博士後期課程・博士前期課程）・人間健康学部会長、小嶋洋輔研究所長、矢野恵美外部審査委員（国立大学法人琉球大学法科大学院教授）、満名悦子外部審査委員(沖縄県民生委員 児童委員協議会理事)、池原秀人事務局長
4. 欠席者：大谷健太郎国際文化研究科長(国際地域文化システム専攻修士課程)
5. 陪 席：泉太郎環太平洋地域文化研究所参与・URA、仲榮眞修地域連携研究推進課長、又吉寛子地域連携研究推進課係長、屋部藍華地域連携研究推進課係員

6. 議 事

議事に先立ち、永田委員長より定足数の確認がなされた後、開催宣言が行われた。

【審議事項】

(1) 大学院生（スポーツ健康科学研究科修士課程）に係る研究倫理承認番号の付与について

奥本委員から、資料に基づきスポーツ健康科学研究科院生の研究計画書（3件）の倫理審査について説明があった。審議の結果、スポーツ健康科学研究科修士課程院生3名について、委員からの指摘があった事項を修正した申請書類等を提出させ、委員長が確認したうえで、承認番号を付与することが承認された。なお、2025-006および2025-007については、研究倫理審査委員の指導学生であることから、説明および質疑後、奥本委員は退室し、審議がなされた。

2025-005について、①研究目的に、関連研究と質問内容との関連性、位置づけを追記すること、②倫理的配慮には、リスクに関すること、質問項目で精神的な影響がでないようにどう工夫しているのか、予測して対処していることを記述すること、③質問紙は、口語表現や誤字脱字を確認することについて、委員から指摘があった。

2025-006について、①介入研究の登録「必要あり」に修正すること、②実験開始後の中断、辞退が可能だと記述することについて、委員から指摘があった。

2025-007について、①スクリーンタイムの用語の説明をわかりやすく記述すること、②器具（身体活動量計）をいつ装着し、どんな時に外すか、わかりやすく記述すること、③「生活行動」の定義づけを行うこと、④保護者への依頼文の説明を追加することについて、委員から指摘があった。

結果については、下表のとおり。

受付番号	研究課題名	受理日	審査委員会承認日	判定
2025-005	ヘアロス当事者のウェルビーイングに関する社会環境要因分析 －自己肯定感と家族・学校環境や運動経験の関連に着目して－	令和7年5月14日	令和7年5月16日	承認

2025-006	高強度運動時の走の経済性とダイナミクス変数の関係	令和7年5月14日	令和7年5月16日	承認
2025-007	中学生における生活行動がメンタルヘルスに及ぼす影響	令和7年5月14日	令和7年5月16日	承認

【報告事項】

(1) 迅速審査について

永田委員長より、2025-004 名桜大学学長の研究計画書（1件）の迅速審査について、資料に基づき報告があった。

結果については、下表のとおり。

受付番号	研究課題名	受理日	承認番号通知日	判定
2025-004	沖縄県北部地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発	令和7年4月30日	令和7年5月15日	承認

(2) 令和7年度倫理審査部会委員研修会アンケート結果について

地域連携研究推進課より、アンケート結果について報告がされた。

【その他】

(1) 令和7年度第1回研究倫理審査委員会議事要旨について

令和7年度第1回研究倫理審査委員会議事要旨（案）について承認がされた。